

工場や倉庫用の棚メーカー、ゴーリキ（本社伊勢市大湊町1125の10、強力雄社長、電話0596・36・2104）は、秋の社内運動会に取引先の社員を招待する。運動会は自社社員の健康増進の一環として行うが、今年から取引先と一緒に健康づくりを進め、共に持続的な成長を目指す。（三重・近藤直樹）

ゴーリキ

運動会は2020年に始め、今年は9月15日に伊勢市の三重県営サンアリーナで実施する。同社からは強力社長ら役員、社員の全25人が参加する予定。取引先は10社以上を招き、自他合わせて参加者は50人規模になる見込み。

運動会では反復横跳びや上体起こしなどの体力測定も行い、運動不足の改善を促す。運動会を企画する健

健康経営の輪を広げる

健康経営推進室の中西宏夢さんは「参加者全員で心と体の健康を目指したい」と話している。

取引先を招くことについて強力社長は「取引先の社員も健康になってもらいたい。取引先とのコミュニケーションも深められれば」と説明している。

同社は「社員が第一。人を選ばれる会社を目指す」（同社長）を掲げ、健康経営に注力。健康診断受診率100%を毎年継続するほ

か、メンタルヘルス、食生活の改善などに取り組んでいる。働き方改革で残業を削減するなど健康的な就労環境も創出。昨年、健康経営推進室を立ち上げ、一段と健康づくりを強化している。

こうした健康増進施策は外部からも高く評価される。経済産業省の制度「健康経営優良法人2022」で中小規模部門の上位500社に与えられる「プライト500」に伊勢市内で初めて認定され、今年も認定を受けた。スポーツを通じた健康増進活動を評するスポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」にも21年から今年にかけて3年連続で認定を受けている。

同社は1918年創業。健康経営の実践は高い定着率と生産性向上を実現するなど、100年以上の歴史を持つ同社の持続的な成長を支える原動力となっている。

ともに持続的な成長めざす



昨年の社内運動会で行った体力測定

社内運動会に取引先招待



伊勢市にあるゴーリキ本社

ルカンパニー」にも21年から今年にかけて3年連続で認定を受けている。

同社は1918年創業。健康経営の実践は高い定着率と生産性向上を実現するなど、100年以上の歴史を持つ同社の持続的な成長を支える原動力となっている。